

山口大学医学部附属病院

〒755-8505 宇部市南小串1-1-1
TEL : 0836-22-2288 FAX : 0836-22-2287
<http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~obgyn/>
連絡先 : asapon@yamaguchi-u.ac.jp



病床数

687 床 (うち、産婦人科 : 43 床、MFICU : 6 床)

1日あたり平均外来患者数

1,205 人 (うち、産婦人科 : 83 人)

産婦人科医師数

常勤専門医 : 10 人、大学院生 : 3 人、専攻医 : 2 人、初期研修医 : 1 人
研修中の専門医 : 3 人 (海外 : 1 人、国内 : 2 人)

年間分娩数

521 件 (うち、帝王切開 : 171 例)

年間婦人科手術件数

234 件 (うち、開腹手術 : 140 件、内視鏡手術 : 38 件、経腔手術 : 54 件)

年間体外受精件数

36 件

指導責任医師

杉野 法広 (教授)

特徴

周産期領域では母体胎児集中治療室 (MFICU) が新設され、切迫早産、多胎妊娠、前置胎盤、妊娠高血圧症候群などのハイリスク妊娠や、心疾患、膠原病などを有する合併症妊娠に対し、高度な管理を行っています。胎児疾患についても新生児チームと協議して治療にあたっています。24時間体制で救急患者を受け入れ母体搬送は年間約 80 件で、「最後の砦」としての役割を果たすべく活発に診療を行っています。

婦人科領域では進行癌に対する化学療法・放射線療法・手術療法を駆使した集学的治療を行う一方、初期の子宮頸部腫瘍に対する光線力学的療法 (PDT) を取り入れ、低侵襲治療を行っています。また全国規模の臨床試験にも積極的に参加し、新たな治療のエビデンス構築に努力しています。

不妊・内分泌領域では、遺伝子検査を日常診療に取り入れ、高度な遺伝子診断を行うことができます。また、体外受精のメラトニン治療は山口大学と済生会下関病院で開発し、実際に国内外で広く行われるようになっています。